

2012年12月期決算概要

(2012年1月1日～12月31日)

2013年2月18日

ハイブリッド・サービス株式会社

2012年12月期 決算概要

01 | 連結損益（前期比）

[単位：百万円]

	2011/12期	2012/12期	増減
売上高	21,187	20,928	▲1.2%
営業利益	107	366	242.6%
経常利益	69	299	330.8%
当期利益	33	133	292.2%
1株当たり 当期純利益	683.31 円	2,725.22 円	+2,041.91 円

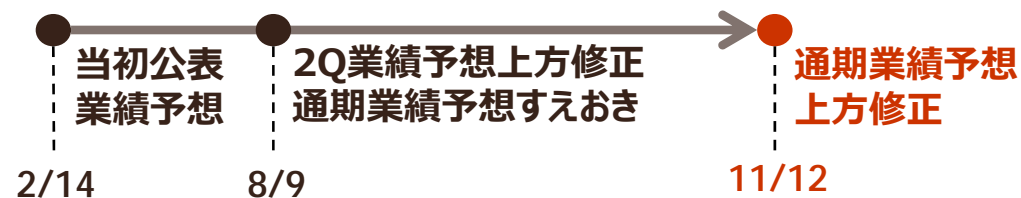
ポイント

- マーキングサプライ事業において売上高微減ながら売上総利益が増加し利益貢献
- 長期化した為替円高がプラスに働き輸入商品の販売拡大が利益に貢献
- ファシリティ関連事業の大型案件獲得が売上・利益に貢献
- 特別損失として、過年度決算訂正関連費用・本社移転費用・訴訟関連損失を計上

02 | 連結損益（計画比）

[単位：百万円]

	2012/12期 実績	当初計画 2/14公表	→ 増減	修正計画 11/12公表	→ 増減
売上高	20,928	21,300	▲1.7%	20,500	+2.1%
営業利益	366	250	+46.7%	350	+4.8%
経常利益	299	194	+54.6%	280	+7.1%
当期利益	133	118	+12.9%	135	▲1.3%
1株当たり 当期純利益	2,725.22 円	2,414.32 円	+310.90 円	2,762.15 円	▲36.93 円

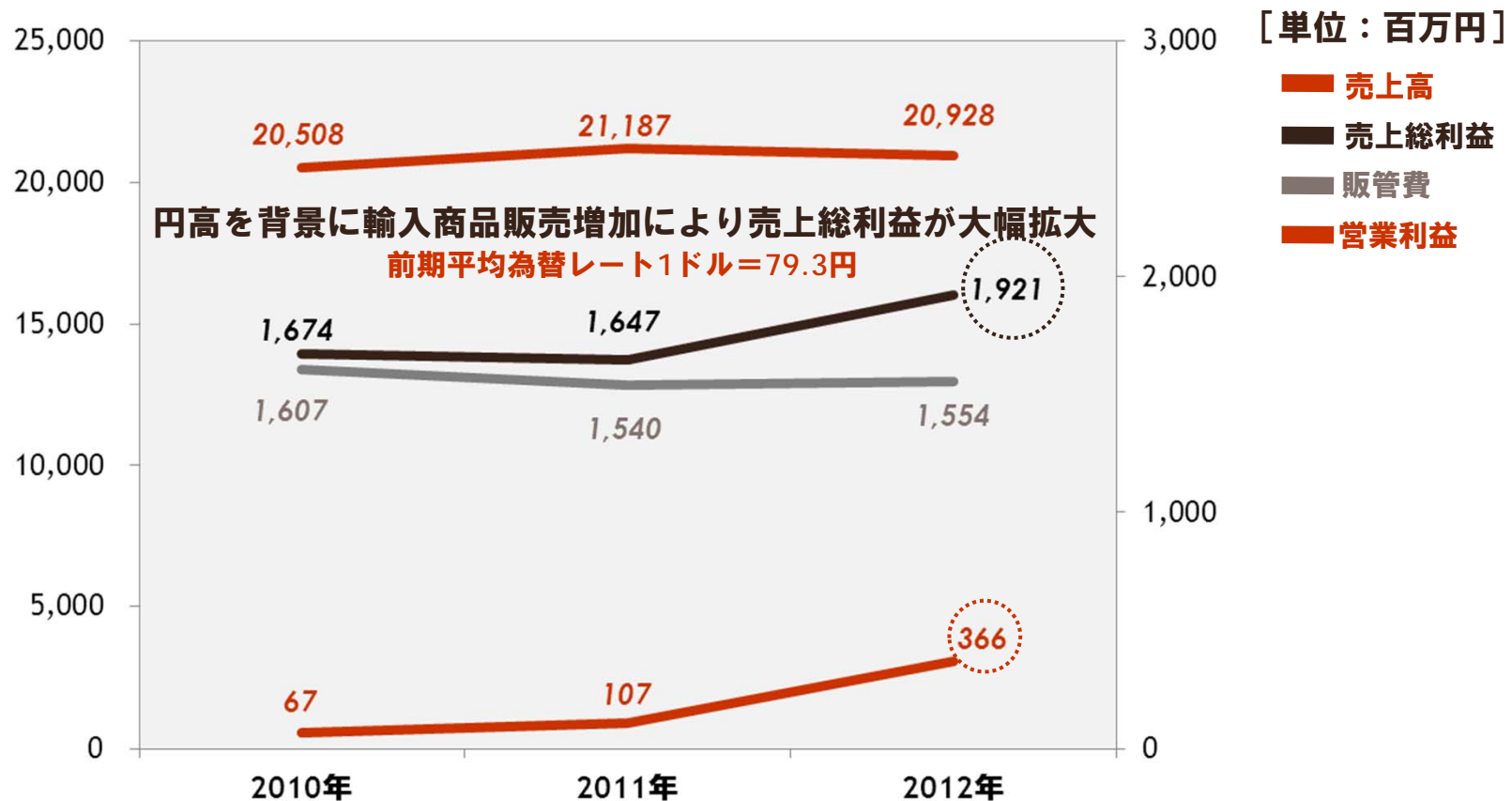


03 | 方針と取組の成果

2012年12月期の方針

- 新規顧客開拓の強化
- 新商材開拓・輸入商品の販売強化
- 物流サービスの充実

歴史的な円高を背景に輸入商品の販売増加により売上総利益が大幅に拡大

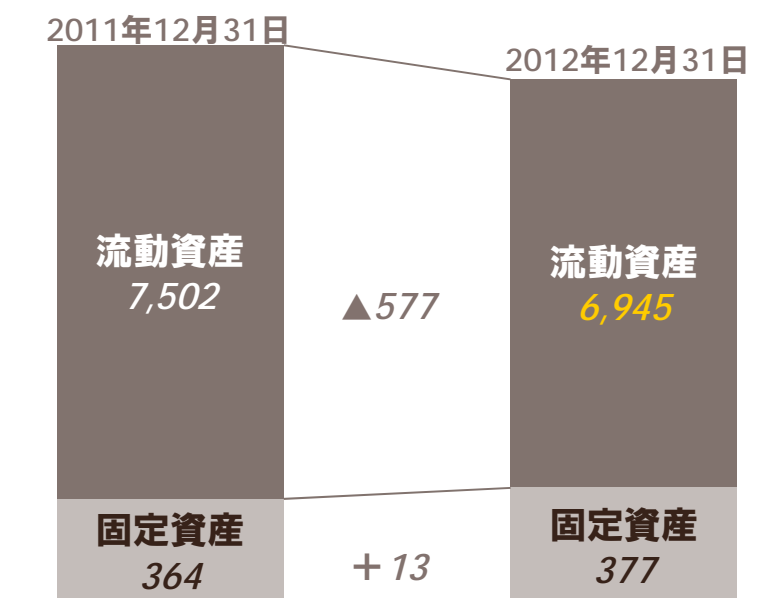


連結貸借対照表（要旨）

ポイント 売上債権・在庫の減少、仕入債務・借入金の減少

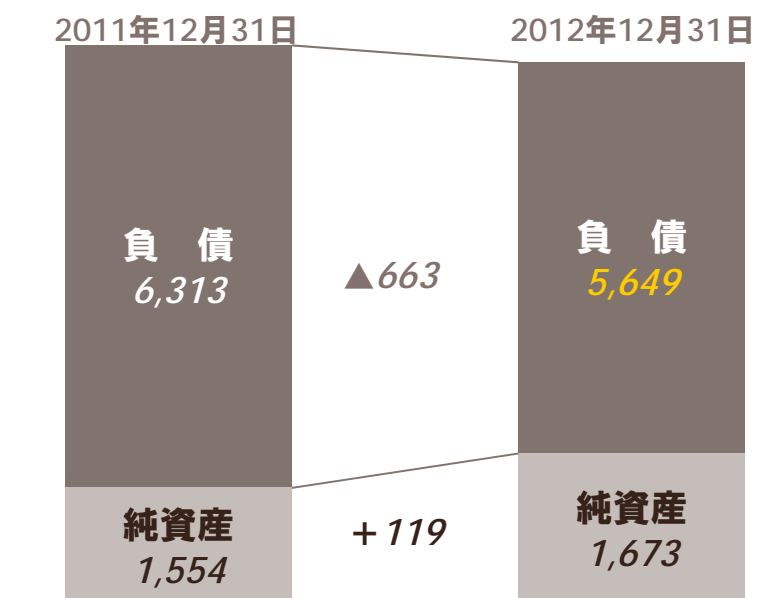
[単位：百万円]

■ 資産の部



- 売上債権の減少 ▲472
- 在庫の減少 ▲154

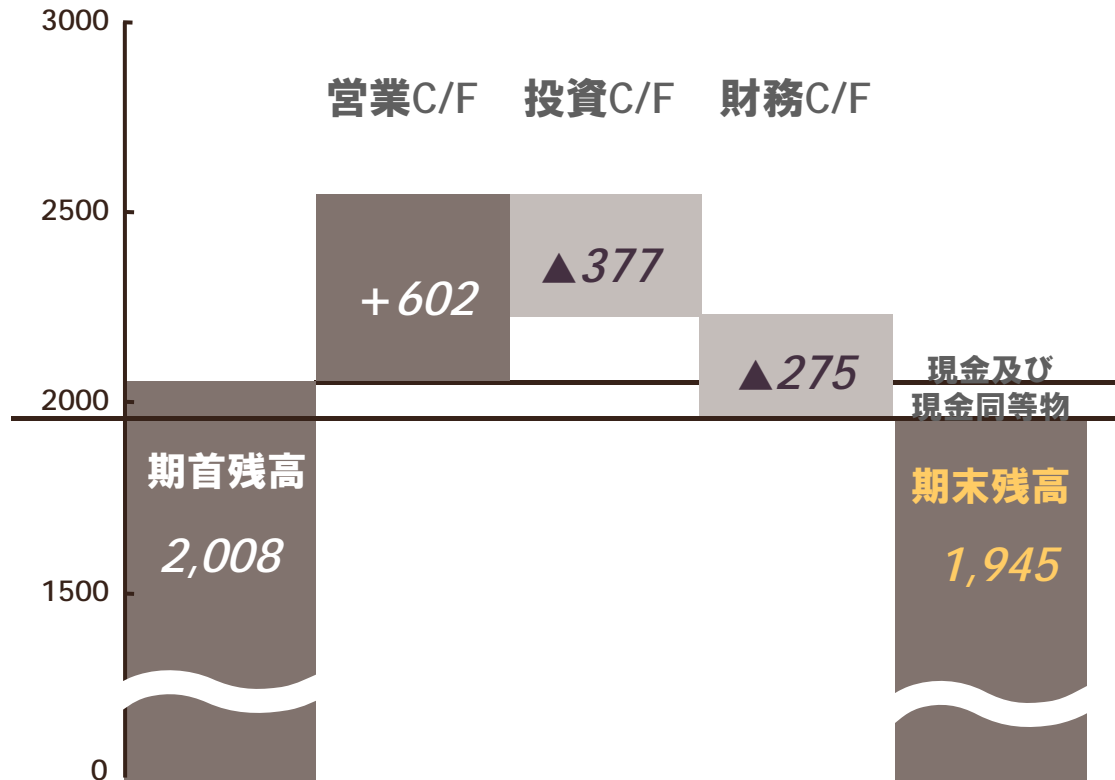
■ 負債・純資産の部



- 仕入債務の減少 ▲328
- 借入金の減少 ▲226

ポイント 営業活動により資金獲得、投資活動・財務活動で使用

[単位：百万円]



増減額

▲45

■ 税引前利益	+217
■ 売上債権の減少	+471
■ たな卸資産の減少	+130
■ 定期預金の預入	▲314
■ 借入金の減少	▲226

	2011/12	2012/12
営業C/F	475	602
投資C/F	20	▲377
財務C/F	▲464	▲275

06 | 事業のセグメント別概況



マーキングサプライ事業の収益性改善
 ファニチャー事業の販売拡大
 その他事業のファシリティ関連大型案件が貢献

各事業着実に成長

		2011/12期	2012/12期	増減額	[単位：百万円]
マーキングサプライ事業	売上	16,007	15,627	▲380	新規開拓・新商材販売などの強化施策により、トナーカートリッジの販売が堅調に推移
	セグメント利益	467	491	+24	
環境関連事業	売上	2,859	2,286	▲573	売上総利益は改善するも販管費を吸収するに至らず
	セグメント利益	▲140	▲41	+99	
ファニチャー事業	売上	491	1,027	+536	売上が増加し、利益貢献
	セグメント利益	31	122	+91	
その他の事業	売上	1,857	2,045	+187	ファシリティ関連における大型案件の受注が貢献 中国での工業用消耗部品の販売が堅調に推移
	セグメント利益	25	92	+67	

大型受注

2012.1~3
**ファシリティ関連
 大規模案件受注**

某外資系企業の合併移転・東京ソラマチ内の飲食店の内装・設備工事などの受注に成功



効率化 × 増床

2012.5.1
**物流倉庫移転
 ▶効率化**

物流サービスの充実を図るため、物流センターを埼玉県草加市に移転

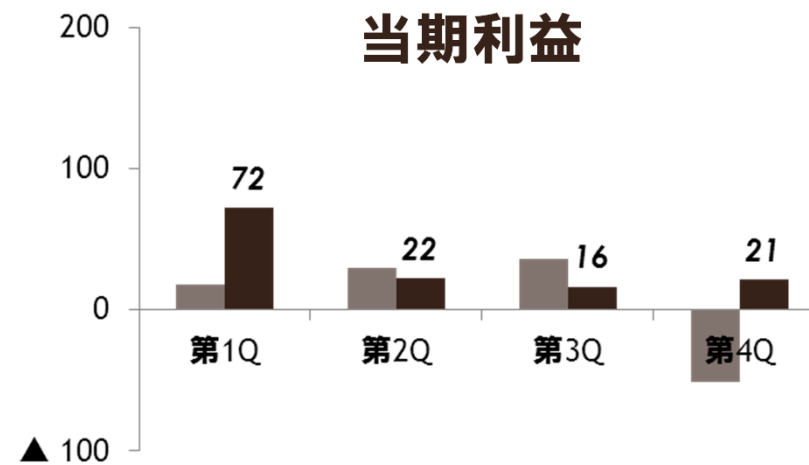
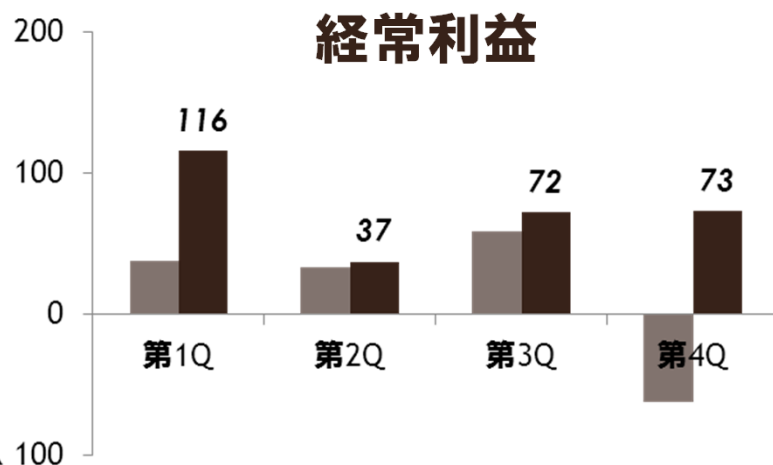
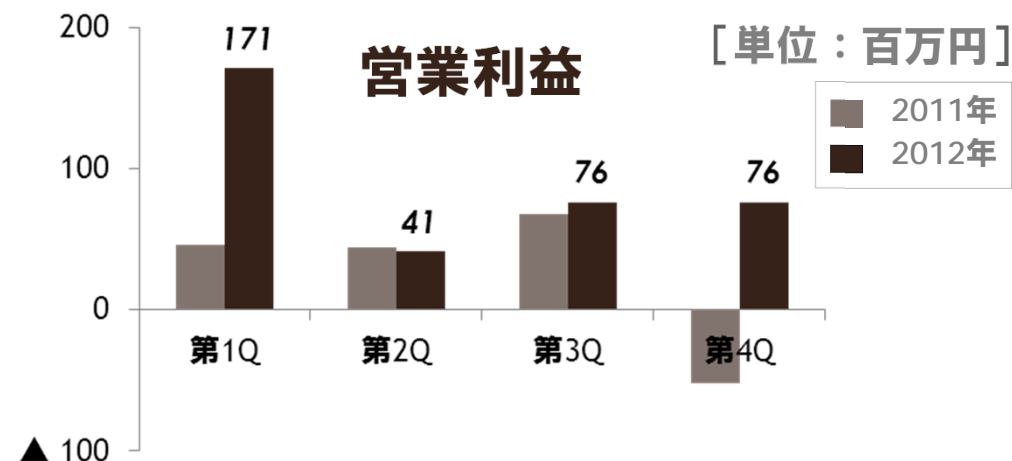
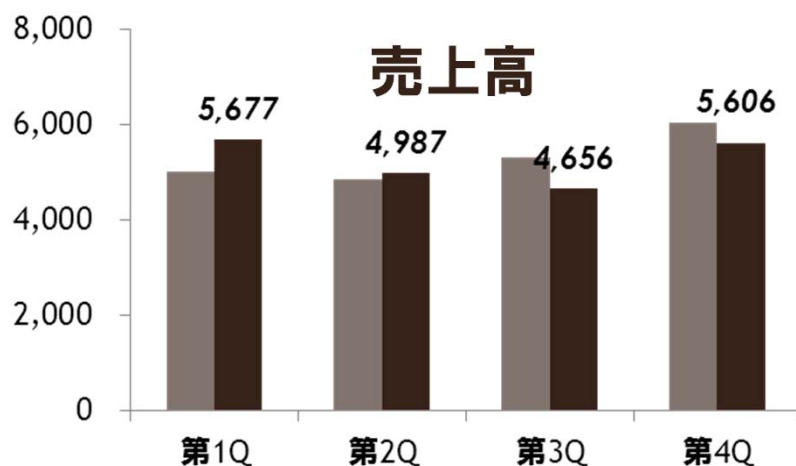


2012.11.26
**本社移転
 ▶増床**

前本社事務所が手狭となり、今後の事業展開を見据え本社事務所を移転



四半期推移



上半期

その他事業における**ファシリティ関連の大型案件の獲得が利益面に大きく貢献**。マーケティングサプライ事業・ファニチャー事業も堅調に推移した。

下半期

さらなる**円高の進行により、輸入商品の販売において売上総利益が大幅に拡大し**全体での利益に貢献した一方で、**過年度決算訂正関連費用・本社移転費用・訴訟関連損失**などの特別損失を計上した。

この度の第三者調査委員会による調査及び調査の結果、過年度決算の訂正に至ったことにつきまして、株主、投資家の皆様をはじめとする関係者の皆様には、多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

調査結果を踏まえた対応

■ 過年度決算の訂正

平成21年6月のLED照明売上の一部の会計処理について

- ▶ 平成21年度～22年度決算短信・有価証券報告書・内部統制報告書の訂正

再発防止策

内部統制の再構築

コンプライアンス教育の強化

取締役の相互監視機能の徹底

監査役の監視機能の徹底

内部通報制度の周知徹底

2013年12月期の見通し

■ 組織・体制の強化

人員増強による営業体制の強化

- ✓ 地方：エリア別・首都圏：職域別の人員配備
- ✓ 中規模顧客への営業機会の増加とサービスの向上

統制環境の再編による牽制機能強化

- ✓ コンプライアンス強化と業務プロセスの最適化

■ プラットフォーム活用による需要開拓

既存顧客の活性化・最大化

- ✓ 新規商材の導入・未獲得品提案によりクロスセリングを推進

既存商流を活かした新商材開拓

- ✓ マーキングサプライ品に限らない分野の新規商材の開拓



11 | 2012年12月期 業績予想

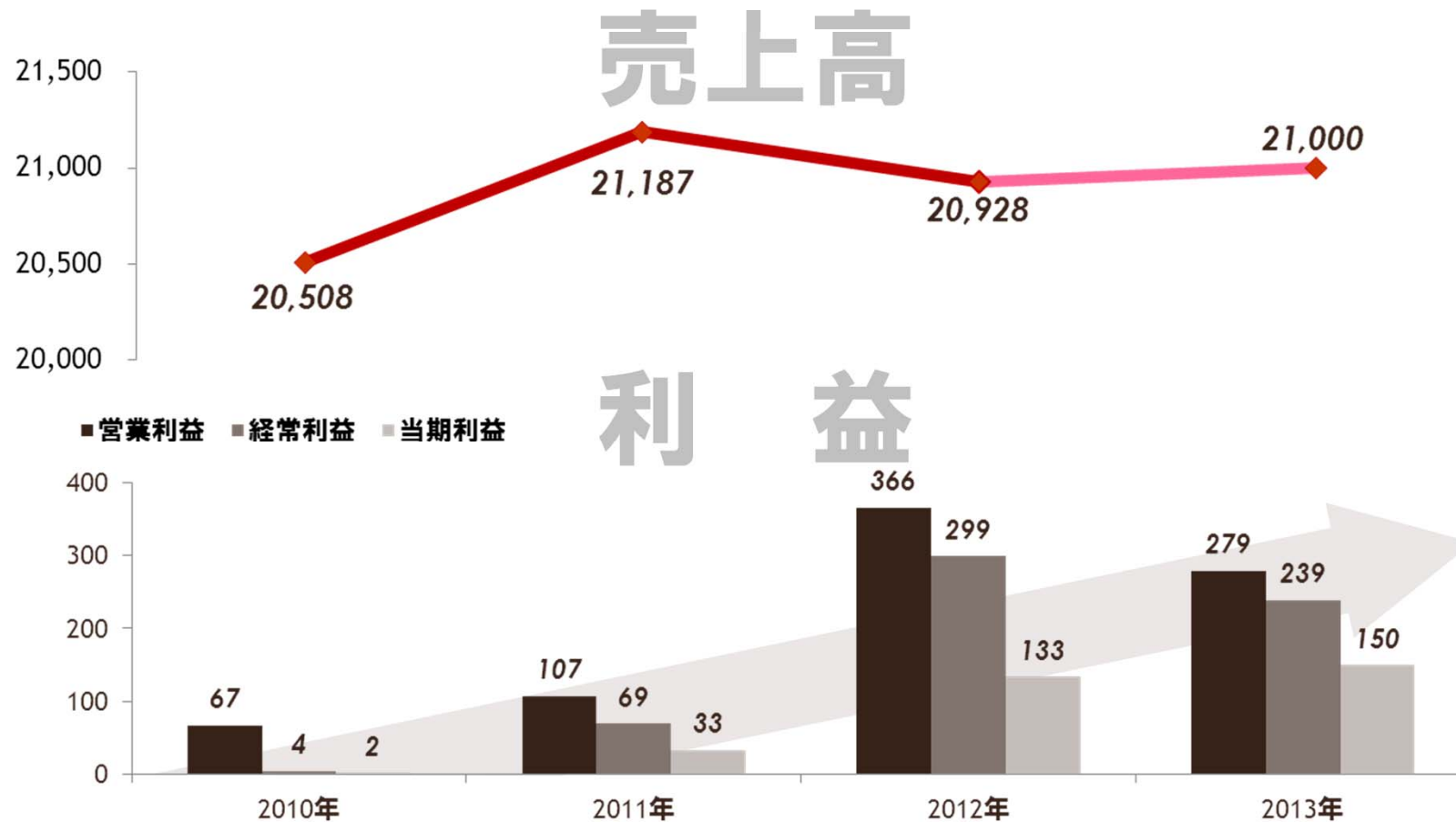
[単位：百万円]

第 2 四 半 期	2012年	2013年	増減
売 上 高	10,665	10,085	▲5.4%
営 業 利 益	213	100	▲53.1%
経 常 利 益	154	80	▲48.1%
当 期 利 益	95	51	▲46.8%
通 期	2012年	2013年	増減
売 上 高	20,928	21,000	+0.3%
営 業 利 益	366	280	▲23.6%
経 常 利 益	299	240	▲20.0%
当 期 利 益	133	150	+12.6%
1 株 当 た り 当 期 純 利 益	2,725.22 円	3,069.05 円	+343.83 円

次期のポイント

前期のファシリティ事業における大型案件の獲得及び歴史的な円高による輸入商品の利益貢献、また、移転費用や決算修正にまつわる特別損失の計上等を除いたベースラインでの成長軌道を堅持し、次なる飛躍に向けた体制強化を目的とした人員増強による人件費の増加等を見込む。

[単位：百万円]



次なる飛躍に向け、人員の増強により体制強化・顧客サービスの拡充を図り、既存の商流・インフラを最大限に活用し需要拡大を図ってまいります。

■ 所在地

〒104-0033

東京都中央区新川1丁目3番17号

新川三幸ビル6F

■ 担 当：経営企画室

Tel : 03-6731-3414

Fax : 03-6731-3413

Mail : ir@hbd.co.jp

注意事項

- ・この資料には、ハイブリッド・サービス(株)の将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
- ・これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見込です。
- ・また経済動向、市場需要、為替変動、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実性も含んでおります。実際の業績は当社の見込とは異なることもあります。